広報　第32号
町のすがた
(11月1日現在)

人口	男	3,467人
	女	3,828人
	計	7,295人
世帯数		1,558

三島町だより

発行　昭和45年11月15日
新潟県三島郡三島町役場
TEL 脇野町局
(代)　340
(夜)　1
印刷　北越印刷株式会社
長岡市福住1丁目
TEL (3) 0306

南部(鳥越)地区に配置された新鋭車

新鋭消防車で
三島町南部地区を強化

三島町の現在消防ポンプは、自動車ポンプ三台、可搬式ポンプ一七台あり消防団員を三〇九名を有しています。

時代の要求は生活様式の変せんに伴なって益々消防力の強化を迫って来ました三島町ではこのたび其の筋の協力を得て消防ポンプ自動車を一台増設し、その装備も整えて十月二五日に自動車隊第三部(日吉地区)に配備しました。

性能は馬力一三〇、全輪駆動式であり特殊装備として、移動式投光器、放送設備、移動式中継水そう。大型消火器、などを備えた、新鋭ポンプであります。

今後は町民の期待に添えるものと確信いたします。

火災は申すまでもなく消すよりも出さないようにすることが肝心です。これからは特に火気使用の機会が多くなりますから火の元には充分気をつけるようみなさんの協力を願います。

防災計画に基く
非常呼集訓練

近年産業経済の進展に伴ない生活様式も著しく向上し、燃えやすい建材や家具などが普及し、更にプロパンガスや石油類などの使用がどの家庭にも行きわたり火災の発生や危険度を高めています。

「災害は忘れた頃にやってくる」何時発生するかわからない災害には常に備える体勢と対策が必要です。

三島町では昨年地域防災計画をたて、災害の防御に対処することになっています。

消防団も組織替えをし、機動性をもたせ、町民の生命財産の保護に当らせることとしました。

防災の成果は一つにかかって消防団員の日頃の訓練と活動の良否に在りますのでこのたび非常呼集訓練を実施しました

以下訓練の概要をお伝えして各位のご批判をいただきたいと存じます。

訓練は午前三時四十分頃折柄の強風下住宅密集地に火災が発生、直ちに消防団員が出動消火活動を行なったが火勢衰えず次第に延焼し最悪の事態となった。

ことを想定して開始されました。サイレンを合図に第一次出動(限られた区域のポンプだけ出動)を三時四十分、第二次出動(町全域のポンプが出動)を四時に発令され、水利の便極めて悪しの想定も加わり、中継送水で水の補給、水幕構成による延焼阻止、不時呼集時の機械操作と放水等が組みあわされて実戦さながらの訓練でありました。

しかし行動を開始してから放水まで、第一出動では七分、第二出動では二十分余の時間がかかることがわかりましたが益々訓練を重ね、施設の近代化と水利の確保につとめたいと思います。

この訓練にあわせ、災害時の炊出し(三五〇人分)訓練に婦人会の方がたが参加され、見事な炊事ぶりでありました。

水道の防寒を早めに

水道課

いよいよ雪の季節になってきました。今のうちに水道管や、給水せん(ジャグチ)が凍結によって破裂しないよう防寒装置や冬囲いを充分にして破裂事故の絶滅をはかってください。

地上に露出している水道管は必ず防寒してください。自分で防寒装置のできない方は水道指定工事店にお申し込みください。また、水道課では凍結防止ヒーターをあっせんいたしますからご利用ください。

水道が破裂し漏水しますと、修理費のほかに、漏水分の水道料(一般家庭用一カ所の破裂による漏水は一時間当り約百円位)を納入して頂くことになり大変高額となりますから充分ご注意ください。

水道検針と冬期料金は

この冬も例年のように降雪のため水道のメーターの検針ができないものと考えられますので一月から三月まで検針を休み、この三カ月は十二月分の使用料を基準にして料金をいただき、明春四月分の検針で料金の過不足を調整いたしますからご了承ください。

歳末たすけあい
募金にご協力を

今年も歳末をひかえまして「歳末たすけあい運動」を左記要領により実施いたします。町民各位の善意による御寄附をお願い申し上げます。

記

一、募金目標　拾弐万円(一世帯当り八十円程度)
二、募金方法
　募金袋を各戸に配布し十二月五日までに完了する
三、募金の配分と慰問の時期
　1.対象者
　イ、結核及び精神病による長期入院中のもの
　ロ、学校施設入所中の身障者
　ハ、生保及び要保護世帯
　ニ、老人福祉施設入所者
　2.慰問の時期及び方法
　イ、実施時期十二月中旬
　ロ、社協役員及び民生委員により慰問を実施する

住みよい町づくり
防ごう家畜公害

近年、公害問題がとやかく言われておりますが特に農村地方では、畜産振興に伴う家畜の多頭化飼育による、し尿、悪臭問題が多く発生しているようです。

おたがいに良き隣人として社会生活を営むため、また、環境衛生の見地からしても、これらを未然に防止するよう各家畜飼育者の方は家畜の、し尿処理および下水などの消毒を完全に実施し悪臭のでないようご協力くださるようお願いします。

また、一般住宅の方々も下水などに殺虫剤を撒布するだけでなく、下水整備をし、害虫などの発生源をなくするよう工夫し、おたがいに住み良い町づくりにご協力をお願いします。

(衛生係)

交通事故相談所の移転と運営

新潟県交通事故相談所長岡駐在は長岡警察署に開設されていましたが先般次のように移転しました。

一、移転先
　長岡市四郎丸沖田一七三―二
　長岡総合庁舎　一階
　電話　長岡四―三一一一
二、相談所の運営

交通事故相談所の運営は次のとおりです。

1、平日午前十時～午後三時三十分　土曜日は正午まで。
2、毎月、第一、第二水曜日及び二十二日は移動交通事故相談などで相談員は不在となる。
3、顧問弁護士による相談は毎週土曜日です。

出稼相談所をご利用下さい

農閑期を利用しての出稼ぎ就労は職業安定所で就職あっせんなどをしていますが町でも労働対策の一環として冬期間の「出稼相談所」を開設しておりますので、ご利用ください。

なお、出稼労働者手帳は町で交付しておりますので新規に出稼ぎにいかれる方は是非役場へおいでください。(産業係)

ポストコーナー

小包の差出しは十二月十五日までに

脇野町郵便局

心のこもった贈り物も小包の包装がよくないために運送途中で、中身が飛び出したり、こわれたりしてはなんにもなりません。

また、年の暮がせまってから差し出されますと、年賀郵便の処理とも重なって郵便物が激増し、年内配達もむずかしくなりますのでぜひ早めに、十二月十五日までにお出しください。

▽小包の包装はしっかりと

郵便局でも取扱いにはじゅうぶん注意しておりますが、困るのは、こわれた小包です。これは、ご自分の小包ばかりでなく、他の小包まで汚したり傷つけたりすることにもなります。

小包をつくるときには①外装を、じょうぶな紙などで厳重に包装して、ヒモをかける。②ヒモが十字に交わるところは結んで、はずれないようにする。③こわれやすいものには、新聞紙、ボール紙、木くずなどをつめて、衝撃を小さくする。④冷凍サケのように、暖かくなると溶け出すものは、ビニールなどで厳重に包むなどしてください。

▽小包にも郵便番号を

小包も郵便番号で、区分け作業をしています。ですから、郵便番号が書いてあれば、容易にあて局別の区分ができるので、それだけ早く届きます。年末のように小包がたくさん出回りアルバイトやパートタイマーの人が大ぜい働くときには、郵便番号はいっそうの効果を発揮しますので、誤れずに右肩にはっきりと、お書きください。

▽その他

荷札は必ず二枚つけてください。また、「小包」の文字も忘れずに、書いてください。

火の用心

秋の火災予防運動

11月26日～12月2日

十一月の衛生行事

月日	種目	対象	ところ	とき
11・24	胃部検診	一般希望者	天津保育所	9・0～15・0
11・25	胃部検診	一般希望者	七日市公民館	9・0～15・0
11・26	胃部検診	一般希望者	役場分館	9・0～15・0
12・3	成人病集団指導会	一般	体育館	13・30～14・30
12・4	精神衛生相談	一般	役場分館	13・30～15・0
12・14	インフルエンザ注射	一般	役場分館	13・30～15・30
12・15	インフルエンザ注射	一般	日吉小学校	13・30～15・30

米の購入通帳有効期間がのびる

各家庭に配付されている一般米穀類購入通帳の有効期限は、ことしの十一月三十日でしたが、来年の十一月三十日まで延長されました。

なお、業務用米穀購入通帳も来年十月三十一日までに延長されました。

編集部より

日ごろ三島町だよりに、およせいただくご理解とご支援を感謝します。

記事の部合で、今回の住民の声、住民窓口相談欄は休ませていただきますのでご了解ください。

国勢調査の結果

ただいま七、一三一人

五年間に三八四人減る

昭和四十五年十月一日現在で実施された国勢調査の結果を速報します。

なお、この数値は新潟県統計課の速報などを利用したもので、後日総理府統計局で公表する数字と異なる場合があります。

◇新潟県の人口と世帯数

二、三六〇、九三三人　五六〇、七八六世帯

◇人口の都市集中化すすむ

人口の増加した市町村は新潟、長岡、高田、三条、新発田、新津、十日町、見附、燕、五泉、豊栄の十一市と亀田、吉田、大潟、聖籠、弥彦、黒埼、田上の七町村であり、他の九十六市町村では減少しており、特に刈羽郡東頸城郡などでの減少が目立ち、核家族化と人口の都市集中化を物語っているようです。

◇近隣の市町村のようす

隣接市町村の状況は別表一のように全般に減っており、とくに出雲崎町、山古志村では世帯数、人口ともに激減している反面、長岡市では人口が5%、世帯数は13%もふえています。

◇三島町の結果

三島町の世帯数は一、五四六世帯で人口は、男三、三七二人、女三、七五九人計七、一三一人となっている。これを前回の国勢調査結果と比べると世帯数では三二世帯、人口は三八四人それぞれ減少している。

このような減少の原因としては次のことが考えられます。

1 経済のいちぢるしい発展によって産業の構成が急速に変り、これとともに農村から都市への人口移動が激しい。

2 出生児数が急激に減少し昭和三十年頃は年間一五〇人程度出生していたものが昭和三十五年には、一三〇人に、昭和四十年は一〇〇人更に最近は、年間九〇人次に部落別の人口は別表二のとおりで、七日市、上条、逆谷での減少が目立っています。

◇結果の集計と公表

総理府統計局が現在集計中で、明年五月末までに人口が官報に告示され、更に詳細な結果は、昭和四十七年の中ごろまでに、都道府県ごとに逐次公表されます。

◇調査完了のお礼

第十一回国勢調査は町民各位の深いご理解、ご協力をいただき無事終了いたしました。また三八名の調査員の方々にはご多忙のところ大変ご熱心にご協力下さいましたことを厚く御礼申し上げます。

別表一　近隣市町村の比較表（昭和40・45年国勢調査）

市町村名	人口 40年	人口 45年	人口 増減	世帯数 40年	世帯数 45年	世帯数 増減	増減率 人口	増減率 世帯数
	人	人	人				%	%
三島町	7,515	7,131	△ 384	1,578	1,546	△ 32	△ 5	△ 2
与板町	8,323	7,924	△ 399	1,771	1,768	△ 3	△ 5	0
出雲崎町	9,337	8,170	△ 1,167	2,239	2,112	△ 127	△ 12	△ 6
和島村	6,539	6,063	△ 476	1,286	1,271	△ 15	△ 7	△ 1
寺泊町	14,922	13,808	△ 1,114	3,034	3,009	△ 25	△ 7	△ 1
越路町	14,942	13,671	△ 1,271	2,961	2,935	△ 26	△ 9	△ 1
三島郡計	61,578	56,767	△ 4,811	12,869	12,641	△ 228	△ 8	△ 2
山古志村	5,286	4,446	△ 840	1,117	1,007	△ 110	△ 16	△ 10
長岡市	154,752	162,262	7,510	36,119	40,985	4,866	5	13

別表二　昭和45・40年国勢調査人口・世帯数の比較

（三島町）

部落名	昭和45年国調 世帯数	昭和45年国調 人口	昭和40年国調 世帯数	昭和40年国調 人口	前回との比較増減 世帯数	前回との比較増減 人口	人口増減率
		人		人		人	%
鳥越	289	1,289	289	1,375	—	△ 86	△ 6
七日市	125	567	132	651	△ 7	△ 84	△ 13
上岩井	130	619	129	633	1	△ 14	△ 2
吉崎	114	514	121	545	△ 7	△ 31	△ 6
脇野町	302	1,297	313	1,342	△ 11	△ 45	△ 3
中条	29	169	31	174	△ 2	△ 5	△ 3
新保	54	270	51	271	3	△ 1	0
大野	37	179	38	171	△ 1	8	5
下河根川	42	215	42	237	—	△ 22	△ 9
瓜生	54	285	54	292	—	△ 7	△ 2
蓮花寺	78	351	78	371	—	△ 20	△ 5
中永	15	76	15	77	—	△ 1	△ 1
上条	63	300	69	335	△ 6	△ 35	△ 11
逆谷	56	256	59	286	△ 3	△ 30	△ 11
気比宮	70	311	67	324	3	△ 13	△ 4
藤川	61	291	62	288	△ 1	3	1
宮沢	27	142	28	143	△ 1	△ 1	△ 1
合計	1,546	7,131	1,578	7,515	△ 32	△ 384	△ 5

盛況裡に終る

商店会スタンプ特売

日頃町民のみなさんには商店会進展につきましてご協力くださいまして厚く御礼申し上げます。

さて、このたび初のこころみとしてスタンプの"品物引換大特売市"を十一月二日、三日の両日体育館で催しましたところ盛況裡のうちに終了させていただきました。

各商店が参加して、デパートさながらの売場に「良い品物を安く」という鉄則のもとに、もりだくさん陳列いたしましたところ「良品安値」と大変好評をいただき私共よろこんでおります。

このような催し方については今後一層検討をかさね年一回という事ではなく、町民のみなさま方にご奉仕いたしたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

（商店会）

文化の日

盛況だった

農林業振興展

米の生産調整という農業の大きな転換期の中に、三島町の農業の在り方と農業の発展を企図して、農林業振興展が十一月三日の文化の日に盛大に開催されました。野菜等の不作から懸念された出品も、新たに稲株や鶏卵も加わり五百点と予期以上で、しかも優れた物が多く多大の成果を収めました。

なお県の御協力を得て、農林業関係の資料（パネル）約五十点を展示し技術向上の参考としました。

当日午後一時三十分より体育館に於て"うまい米作り運動"も併せ表彰式を行ないました。

なお入賞者は次のとおりです。

穀類の部

玄米

最優秀賞　新保　青柳　長一
同　同　米持　勇一
優秀賞　同　青柳　又衛
同　下河根川　片沼　民二
同　蓮花寺　石黒喜久代
優良賞　吉崎　小林新太郎
同　上条　田中　耕蔵
同　瓜生　片桐　忠史
同　脇野町　河内スミ子

大豆

最優秀賞　新保　田口喜代七
優秀賞　同　稲田　フミ
同　中条　山田　トシ
優良賞　下河根川　片沼　文栄
同　脇野町　中川　武雄

小豆

優秀賞　瓜生　本村　チヨ
同　宮沢　山田　清作
優良賞　上条　田中　耕一

いんげん

優良賞　脇野町　近藤　ミキ
同　逆谷　新保　トミ
同　下河根川　片沼　フメ

落花生

優秀賞　上岩井　佐藤　キク
優良賞　同　田口　チヨ
同　同　安立　イツ

中越農政事務所長賞

稲株の部

最優秀賞　新保　青柳　長一
同　同　小川　フジエ
同　同　糀沢　千代

体菜

優良賞　気比宮　八田　ユリ
同　下河根川　池田　スミ
同　同　荒川　和子
同　藤川　小熊　シズ

根

優秀賞　気比宮　青柳　ヨミ
優良賞　上岩井　古見　克
同　上岩井　五十嵐　トセ

白菜

最優秀賞　脇野町　中川　キミ
優秀賞　同　糀沢　泰二
同　脇野町　岡本　竹次
優良賞　同　岡本　タセ
同　吉崎　小林　ミイ
同　脇野町　中川　甚一
同　同　糀沢　千代
同　中条　片桐与平太

かんらん

最優秀賞　下河根川　片沼　イシ
優良賞　脇野町　中川　八郎
同　大野　水品タカ子
同　同　西沢　ネイ

ねぎ

最優秀賞　脇野町　小川　新一
優秀賞　同　近藤　ミキ
優良賞　同　原　カウ

大根

優秀賞　大野　井開トシ子
優良賞　中条　片桐　太一

野沢菜

優良賞　上条　野島　ハツ

花やさい

最優秀賞　脇野町　岡本　タセ
優秀賞　中条　片桐与平太
優良賞　七日市　吉原　ヤイ

ほうれん草

最優秀賞　脇野町　糀沢　泰二
優秀賞　下河根川　池田　スミ
優良賞　同　和子
同　藤川　小熊　シズ

しょうが

優良賞　大野　井開トシ子
優良賞　中条　片桐　太一
同　上岩井　五十嵐　トセ

里いも

最優秀賞　宮沢　山田　勇雄
優秀賞　気比宮　青柳　ナミ
優良賞　宮沢　山田　清作

馬鈴薯

最優秀賞　島越　青柳永次郎
優秀賞　瓜生　小林　ヤイ
優良賞　島越　奈良場三四七
同　中条　片桐　太一

れんこん

最優秀賞　脇野町　田中　松尾
優秀賞　新保　稲田　ツル
優良賞　七日市　中野　昭二
同　吉崎　小林　ノイ

玉ねぎ

優秀賞　脇野町　中川　ミス
優良賞　中条　片桐　ウメ

長いも

最優秀賞　上岩井　安立　キヨ
優秀賞　新保　青柳　ハナ
優良賞　上岩井　田口　イク

果樹、その他の部

優秀賞　大野　山村　ハナ
優良賞　下河根川　金子美一郎

馬鈴薯

中越農政事務所長賞　島越　青柳永次郎

かき

優秀賞　大野　山村　ハナ
優良賞　下河根川　金子美一郎

きく

優良賞　上岩井　佐藤　佐吉

かんしょ

優秀賞　吉崎　小林　政一
優良賞　上岩井　安立　千鶴

ごぼう

優秀賞　上条　田中　耕一
優良賞　逆谷　新保　孝次

くわい

優良賞　上岩井　佐藤　佐吉
同　脇野町　岡本　竹次

こんにゃく

優良賞　上岩井　元井　トキ
同　同　安立　ヒサ

にんじん

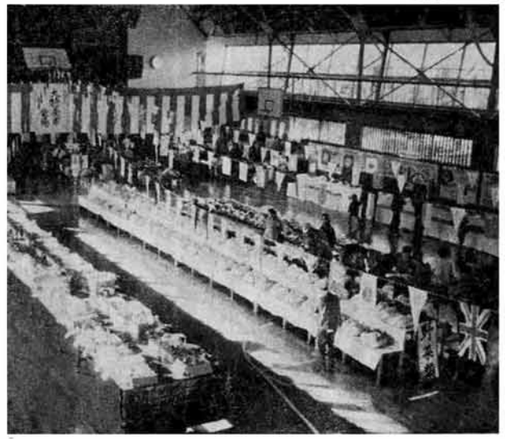
優秀賞　脇野町　河内スミ子
優良賞　瓜生　山田八千代
同　脇野町　岡本　竹次

畜産物の部

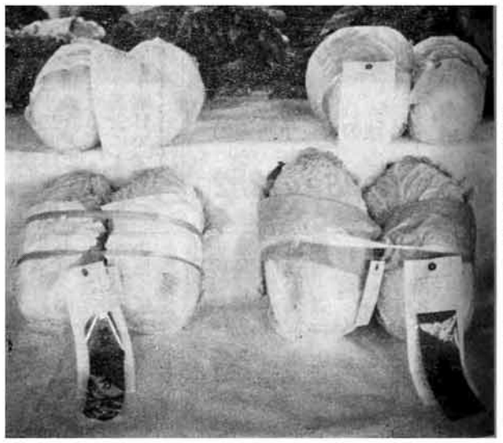
優良賞　上岩井　田口　チヨ
同　同　安立　ヒサ

卵

優良賞　新保　白倉　忠



いずれ劣らぬ優秀品



見事な出来栄えです

林産物の部

くり

最優秀賞　大野　小林　ミン
優良賞　逆谷　小熊　順一

しめじ

優秀賞　七日市　関根　景作

なめこ

優秀賞　七日市　関根　岸郎

しいたけ

優良賞　逆谷　近藤　操

いちょう

優良賞　七日市　青柳　芳郎

くるみ

優良賞　七日市　関根　キミ

くり

最優秀賞　大野　小林　ミン

中部林業事務所長賞

大野　小林　ミン

うまい米作り

優秀賞　中永　難波栄一郎
優秀賞　蓮花寺　難波　啓吾
同　宮沢　笠原　ヨキ
優良賞　気比宮　青柳　一男
同　同　西原　栄治
同　同　青柳　熊治
同　中条　片桐　繁雄
同　島越　山田　英一

"泳ぐ宝石"

錦鯉品評会

近年著しく愛好者が増え"泳ぐ宝石"と評判の錦鯉は、三島町でもその飼育が盛んであります。文化の日の十一月三日にこの品評会が開かれ、八十五点という数多くの出品がありました。入賞者は次のとおりで、たいそうな逸品もあり盛況でした。

第一部

優秀賞　丸山啓太郎
同　新保　芳夫
同　元井　作司
優良賞　青柳　一男
優良賞　丸山　敏
同　丸山　進
同　難波　正
同　山田　弘
同　近藤佐太郎

第二部

優秀賞　高橋　正平
同　井上　健一
同　七日市組合
優良賞　近藤佐太郎
同　結城　幸作
同　松浦与喜雄

第三部

最優秀賞　気比宮組合
優良賞　井上　進
優良賞　気比宮組合
町長杯